



CTMS Administration ソフトウェアの設定

Revised: April 30, 2007, OL-12586-01-J

目次

- 概要 (P.4-1)
- System Settings (P.4-2)
 - IP Settings の編集 (P.4-2)
 - Access Settings の編集 (P.4-4)
 - QoS Settings の設定および編集 (P.4-5)
 - Resource Management の設定および編集 (P.4-8)
- Cisco Unified Communications Manager の設定 (P.4-10)
 - CUCM Settings の設定および編集 (P.4-10)
 - SIP Profile Settings の設定および編集 (P.4-11)
- Cisco TelePresence Manager (CTS-Manager) Settings の設定および編集 (P.4-13)
- Access Management の設定および編集 (P.4-15)
- ソフトウェア バージョンのアップグレード (P.4-19)

概要

次の各項では、Cisco TelePresence Multipoint Switch (CTMS) の System Configuration パラメータについて説明します。システム設定は、次のように分割されています。

- System Settings (P.4-2)
- Cisco Unified Communications Manager の設定 (P.4-10)
- Cisco TelePresence Manager (CTS-Manager) Settings の設定および編集 (P.4-13)
- Access Management の設定および編集 (P.4-15)

System Settings

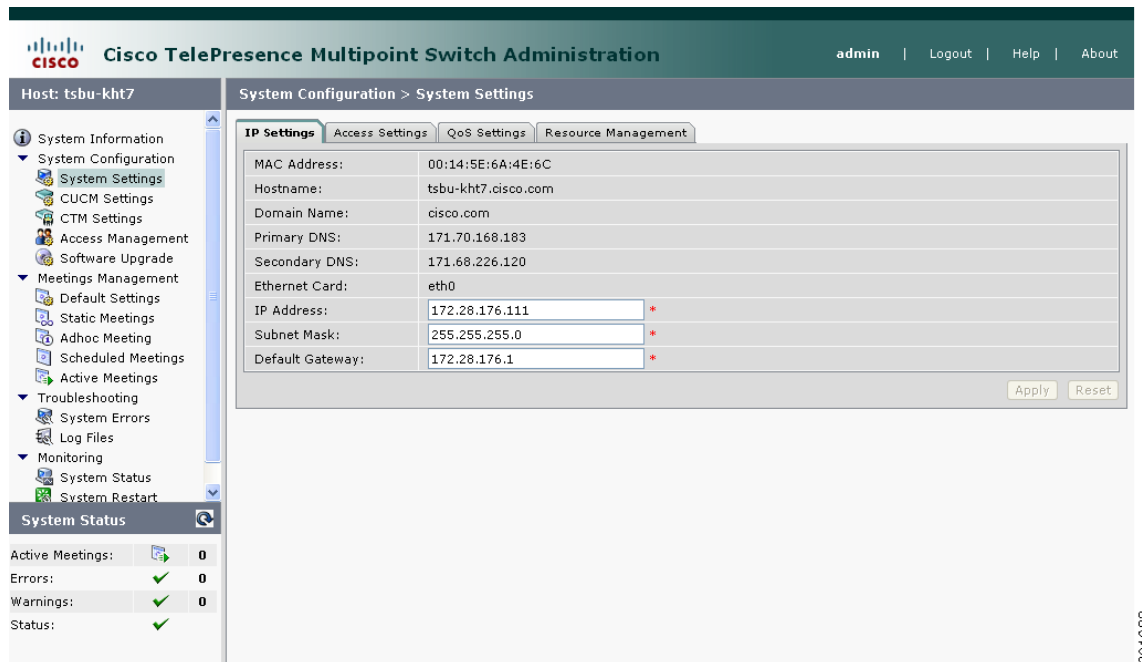
System Settings は、Cisco TelePresence Multipoint Switch (CTMS) Administration ソフトウェアのセットアップ時に最初に設定されます。System Settings を使用して、これらの初期設定値を変更できます。System Settings には次の4つの設定領域があります。

- IP Settings の編集 (P.4-2)
- Access Settings の編集 (P.4-4)
- QoS Settings の設定および編集 (P.4-5)
- Resource Management の設定および編集 (P.4-8)

IP Settings の編集

図 4-1 に、IP Settings 画面を示します。

図 4-1 IP Settings



IP 設定値を編集するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** ナビゲーション ペインの **System Configuration** フォルダで **System Settings** をクリックします。
- ステップ 2** **IP Settings** タブをクリックします。IP Settings 画面に、IP Settings フィールドを示すテーブルが表示されます。IP Settings 画面に表示されるほとんどの設定値は、CTMS Administration ソフトウェアの初回インストール時に設定されます。この画面で設定できるのは、次の3つのフィールドだけです。
 - IP Address
 - Subnet Mask
 - Default Gateway

必要に応じて、表 4-1 に示すように設定値を編集します。

表 4-1 IP Settings

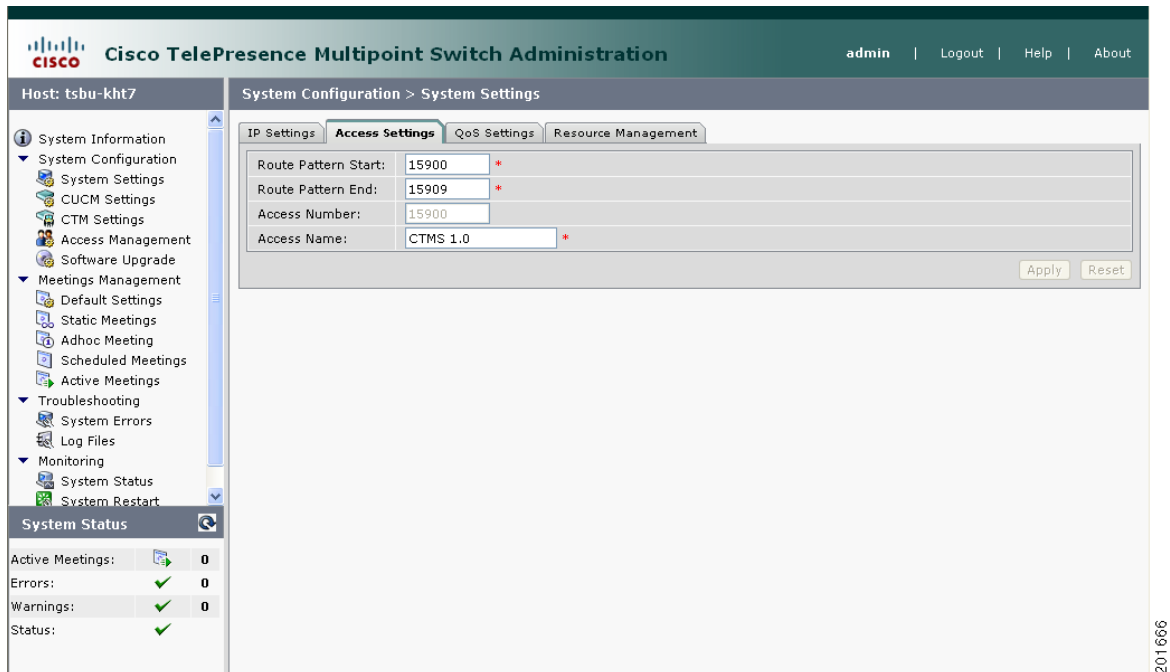
フィールドまたはボタン	設定
MAC Address	(表示のみ) Cisco TelePresence Multipoint Switch が配置されている MCU デバイスの MAC アドレス
Hostname	(表示のみ) Cisco TelePresence Multipoint Switch が配置されている MCU デバイ스에設定された MAC アドレス
Domain Name	(表示のみ) Cisco TelePresence Multipoint Switch が配置されている MCU デバイスが所属するドメイン名
Primary DNS	(表示のみ) Cisco TelePresence Multipoint Switch が配置されている MCU デバイスのプライマリ DNS の IP アドレス
Secondary DNS	(表示のみ) Cisco TelePresence Multipoint Switch が配置されている MCU デバイスのセカンダリ DNS の IP アドレス
Ethernet Card	(表示のみ) ネットワークに接続するために MCU サーバで使用されるイーサネットカード
IP Address	Cisco TelePresence Multipoint Switch の IP アドレス
Subnet Mask	Cisco TelePresence Multipoint Switch のサブネット マスク
Default Gateway	Cisco TelePresence Multipoint Switch のデフォルト ゲートウェイの IP アドレス

- 新しい設定または変更した設定を登録するには、**Apply** をクリックします。
- 元の設定に戻すには、**Reset** をクリックします。

Access Settings の編集

図 4-2 に、Access Settings 画面を示します。

図 4-2 Access Settings



Access Settings を編集するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** ナビゲーション ペインの **System Configuration** フォルダで **System Settings** をクリックします。
- ステップ 2** **Access Settings** タブをクリックします。Access Settings に、Access Settings 設定フィールドを示すテーブルが表示されます。Access Settings 画面の設定値はすべて、Cisco Unified Communications Manager (CUCM) で設定された値が使用されます。

必要に応じて、表 4-2 に示すように設定値を編集します。

表 4-2 Access Settings

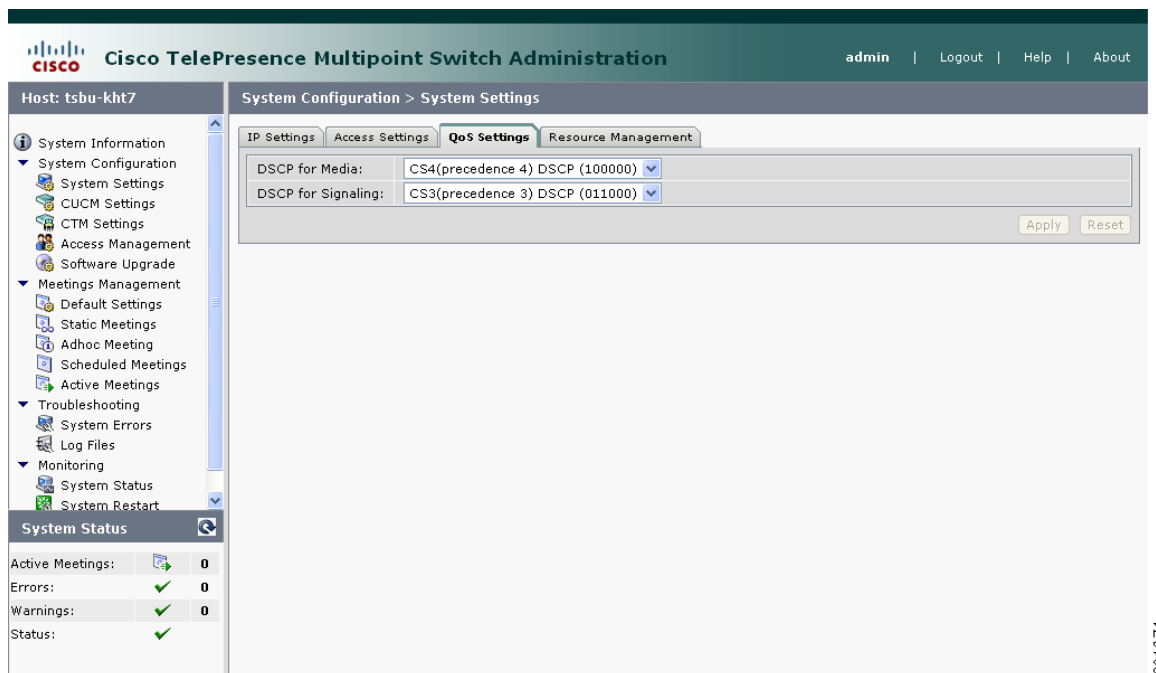
フィールドまたはボタン	設定
Route Pattern Start	CUCM で設定されているとおりに、定義済みルート パターンの最初の番号を定義します。
Route Pattern End	CUCM で設定されているとおりに、定義済みルート パターンの最後の番号を定義します。
Access Number	CUCM で設定されているとおりに、ルート パターンの最初の番号を表示します。CTMS Administration ソフトウェア (CTMSA) は、自動的にこの番号をアクセス番号として選択します。この番号はスケジュール会議用に使用され、定例会議には使用できません。
Access Name	アクセス番号を表す名前。最大 20 文字です。

- 新しい設定または変更した設定を登録するには、**Apply** をクリックします。
- 元の設定に戻すには、**Reset** をクリックします。

QoS Settings の設定および編集

図 4-3 に、QoS Settings 画面を示します。

図 4-3 QoS Settings



QoS Settings を設定または編集するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** ナビゲーションペインの **System Configuration** フォルダから **System Settings** をクリックして **System Settings** ウィンドウを開きます。
- ステップ 2** **QoS Settings** タブをクリックします。QoS Settings に、QoS Settings 設定フィールドを示すテーブルが表示されます。

必要に応じて、表 4-3 に示すように設定値を入力または編集します。

表 4-3 QoS Settings

フィールドまたはボタン	設定
DSCP for Media	<p>ネットワーク キューイングで使用する音声およびビデオ トラフィックのトラフィック マーキング値。有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AF11 DSCP (001010) • AF12 DSCP (001100) • AF13 DSCP (001110) • AF21 DSCP (010010) • AF22 DSCP (010100) • AF23 DSCP (010110) • AF31 DSCP (011010) • AF32 DSCP (011100) • AF33 DSCP (011110) • AF41 DSCP (100010) • AF42 DSCP (100100) • AF43 DSCP (100110) • CS1 (precedence 1) DSCP (001000) • CS2 (precedence 2) DSCP (010000) • CS3(precedence 3) DSCP (011000) • CS4(precedence 4) DSCP (100000) • CS5(precedence 5) DSCP (101000) • CS6(precedence 6) DSCP (110000) • CS7(precedence 7) DSCP (111000) • Default DSCP (000000) • EF DSCP (101110) <p>このフィールドのデフォルト値は CS4 (precedence 4) (100000) です。このフィールドではデフォルト値を使用することをお勧めします。</p>

表 4-3 QoS Settings (続き)

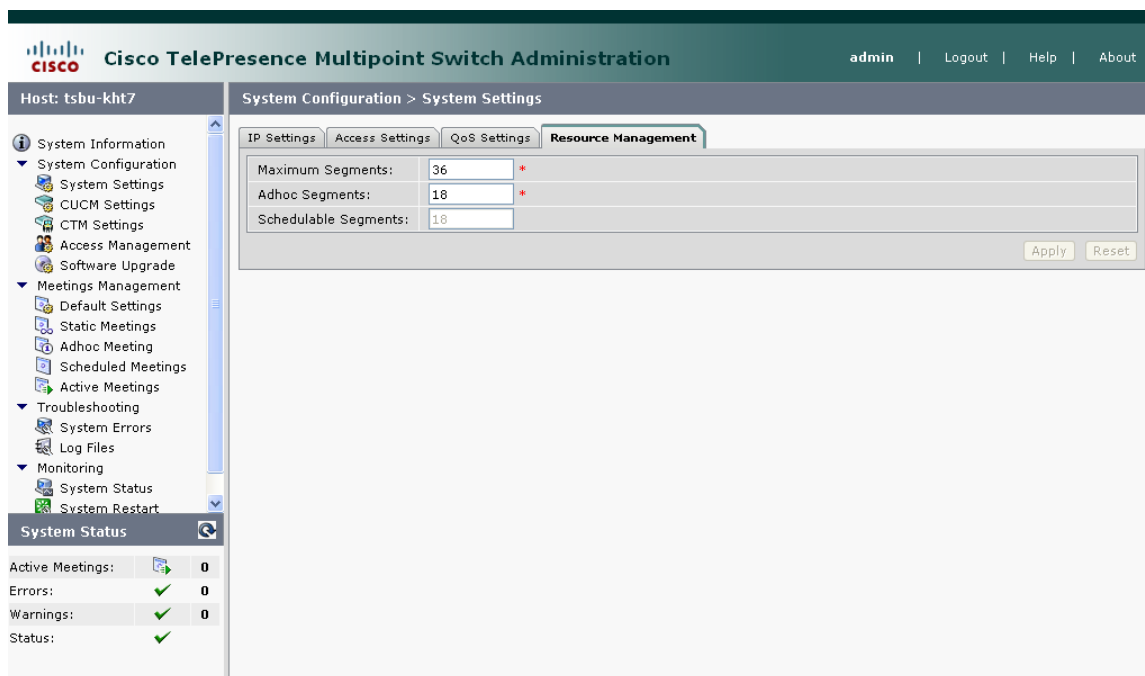
フィールドまたはボタン	設定
DSCP for Signaling	<p>パケットの IP ヘッダー内の Differentiated Services Code Point (DSCP) 値に基づいて Per-Hop Behavior を定義するトラフィック キューイング 技術。</p> <p>有効な値は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • AF11 DSCP (001010) • AF12 DSCP (001100) • AF13 DSCP (001110) • AF21 DSCP (010010) • AF22 DSCP (010100) • AF23 DSCP (010110) • AF31 DSCP (011010) • AF32 DSCP (011100) • AF33 DSCP (011110) • AF41 DSCP (100010) • AF42 DSCP (100100) • AF43 DSCP (100110) • CS1(precedence 1) DSCP (001000) • CS2(precedence 2) DSCP (010000) • CS3(precedence 3) DSCP (011000) • CS4(precedence 4) DSCP (100000) • CS5(precedence 5) DSCP (101000) • CS6(precedence 6) DSCP (110000) • CS7(precedence 7) DSCP (111000) • Default DSCP (000000) • EF DSCP (101110) <p>このフィールドのデフォルト値は CS3 (precedence 3) (011000) です。このフィールドではデフォルト値を使用することをお勧めします。</p>

- 新しい設定または変更した設定を登録するには、**Apply** をクリックします。
- 元の設定に戻すには、**Reset** をクリックします。

Resource Management の設定および編集

図 4-4 に、Resource Management の設定画面を表示します。

図 4-4 Resource Management の設定値



Resource Management の設定値を設定または編集するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** ナビゲーション ペインの **System Configuration** フォルダで **System Settings** をクリックします。
- ステップ 2** **Resource Management** タブをクリックします。Resource Management に、Resource Management 設定フィールドを示すテーブルが表示されます。

必要に応じて、表 4-4 に示すように設定値を入力または編集します。

表 4-4 Resource Management の設定値


フィールドまたはボタン	設定
Maximum Segments	この CTMS が処理するテーブル セグメント（個々のビデオ ディスプレイ）の合計数を定義します。最大数は 36 です。
Ad Hoc Segments	緊急会議用に使用可能なテーブル セグメントの最大数を定義します。アドホック セグメントは定例会議およびアドホック会議で使用されます。緊急会議で使用可能なテーブルセグメントの数を定義することで、スケジュール会議に使用可能な十分な数のテーブルセグメントを確保できます。最大数は 36 です。
	 <p>(注) Schedulable Table Segments および Ad hoc Table Segments の合計が 36 以下でなければなりません。</p>

表 4-4 Resource Management の設定値 (続き)

フィールドまたはボタン	設定
Schedulable Segments	(表示のみ) このフィールドには、スケジュール会議で常時使用可能なテーブルセグメントの数が表示されます。CTMSA は、Maximum Table Segments に定義済みの数から Ad Hoc Table Segments に定義済みの数を減算してこの値を自動的に導き出します。



(注) Cisco TelePresence Manager をインストールしていない場合は、すべてのテーブルセグメントをアドホックにする必要があります。

- 新しい設定または変更した設定を登録するには、*Apply* をクリックします。
- 元の設定に戻すには、*Reset* をクリックします。

Cisco Unified Communications Manager の設定

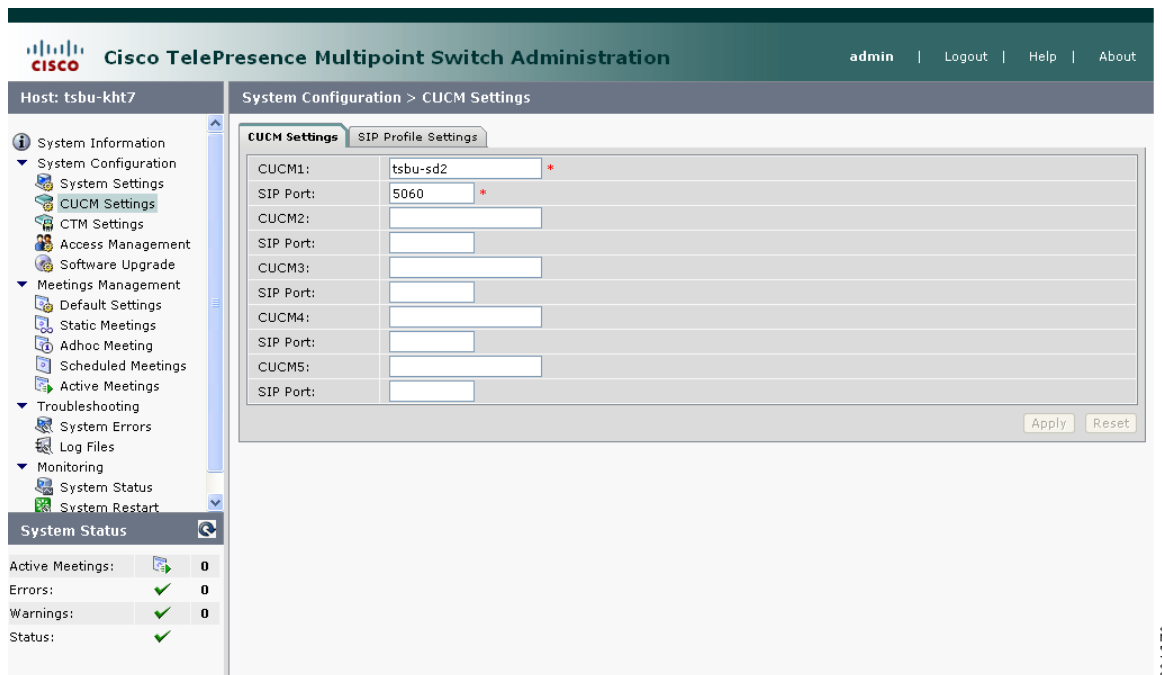
Cisco Unified Communications Manager (CUCM) Settings 画面には、次の2つの設定領域があります。

- [CUCM Settings の設定および編集 \(P.4-10\)](#)
- [SIP Profile Settings の設定および編集 \(P.4-11\)](#)

CUCM Settings の設定および編集

図 4-5 に、CUCM Settings 画面を示します。


図 4-5 CUCM Settings



CUCM Settings を設定または編集するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** ナビゲーション ペインの **System Configuration** フォルダで **CUCM Settings** をクリックします。
- ステップ 2** **CUCM Settings** タブをクリックします。CUCM Settings に、CUCM Settings 設定フィールドを示すテーブルが表示されます。必要に応じて、表 4-5 に示すように設定値を入力します。

表 4-5 CUCM Settings

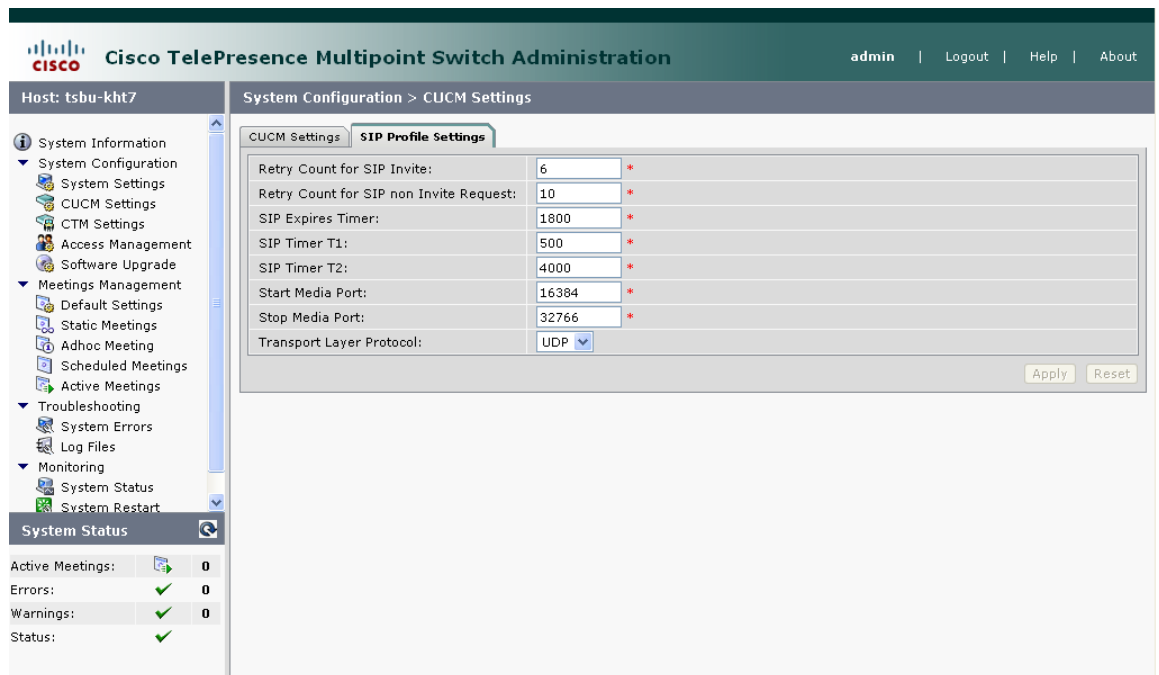
フィールドまたはボタン	設定
CUCM 1 ~ 5	Cisco Unified Communications Manager (CUCM) サーバのホスト名または IP アドレス。  (注) すべての CUCM サーバをクラスタに追加する必要があります。
SIP Port	CUCM からの SIP メッセージを受信するために UDP を使用している Cisco Unified SIP IP Phone のポート番号。デフォルト設定は 5060 です。

- 新しい設定または変更した設定を登録するには、*Apply* をクリックします。
- 元の設定に戻すには、*Reset* をクリックします。

SIP Profile Settings の設定および編集

図 4-6 に、SIP Profile Settings 画面を示します。

図 4-6 SIP Profile Settings



SIP Profile Settings を設定または編集するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** ナビゲーション ペインの **System Configuration** フォルダから **CUCM Settings** をクリックして **CUCM Settings** ウィンドウを開きます。

ステップ 2 *SIP Profile Settings* タブをクリックします。SIP Profile Settings に、SIP Profile Settings 設定フィールドを示すテーブルが表示されます。

必要に応じて、表 4-6 に示すように設定値を入力または編集します。

表 4-6 SIP Profile Settings

フィールドまたはボタン	設定
Retry Count for SIP Invite	Cisco Unified Communications Manager (CUCM) が INVITE メッセージを再送信する回数を指定します。これは必須フィールドです。最小回数は 1、最大回数は 10、デフォルトは 6 です。
Retry Count for SIP non-Invite Request	CUCM が non-INVITE メッセージを再送信する回数を指定します。これは必須フィールドです。最小回数は 1、最大回数は 10、デフォルトは 6 です。
SIP Expires Timer	INVITE メッセージが有効な状態で維持される最大時間を指定します。このタイマーが時間切れになる前に CUCM が応答を受信しなかった場合、CUCM はコールを切断します。これは必須フィールドです。最大値は 60000 (ミリ秒) です。最小値は 300000 (ミリ秒) です。デフォルトは 180000 (ミリ秒) です。
SIP Timer T1	SIP メッセージの再送信タイマーの最小値をミリ秒単位で指定します。有効な値は、任意の正の数字です。デフォルトは 500 です。
SIP Timer T2	SIP メッセージの再送信タイマーの最大値をミリ秒単位で指定します。有効な値は、任意の正の数字です。デフォルトは 4000 です。
Start Media Port	メディア用の Real-Time Protocol (RTP) ポート範囲の始まりを指定します。メディア ポートの範囲は 16384 ~ 32766 です。デフォルトは 16384 です。
Stop Media Port	メディア用の Real-Time Protocol (RTP) ポート範囲の終わりを指定します。メディア ポートの範囲は 16384 ~ 32766 です。デフォルトは 32766 です。
Transport Layer Protocol	このリリースでは CTMS は UDP のみをサポートしています。

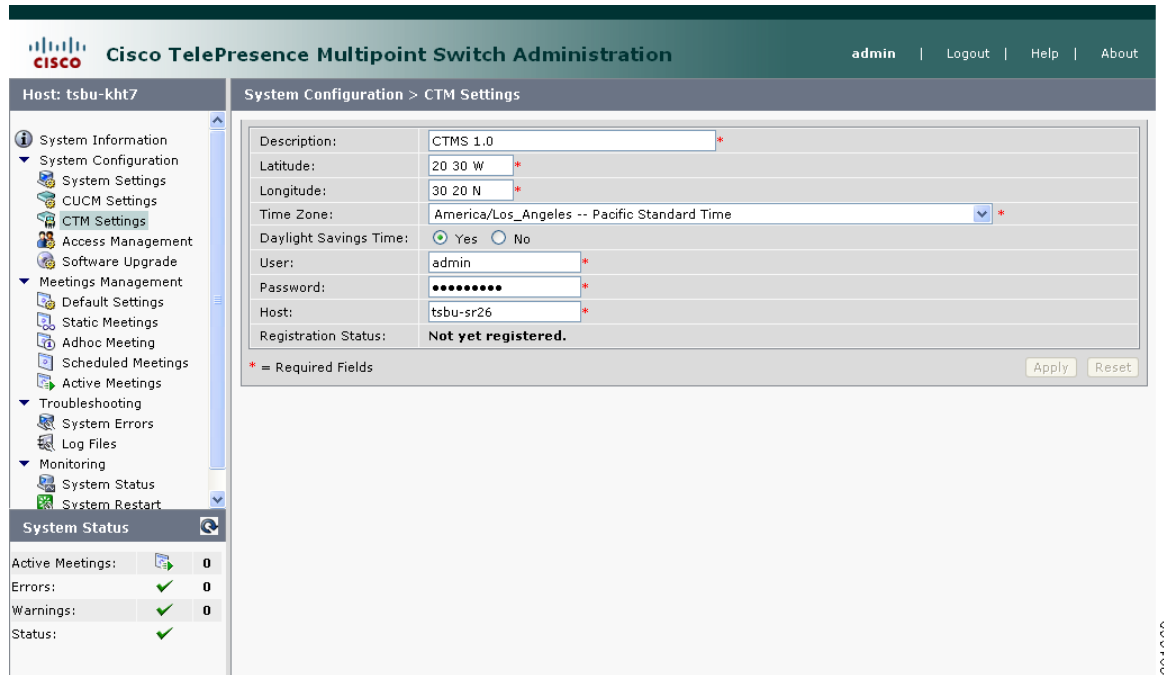
- 新しい設定または変更した設定を登録するには、**Apply** をクリックします。
- 元の設定に戻すには、**Reset** をクリックします。

Cisco TelePresence Manager (CTS-Manager) Settings の設定および編集

これらの設定値は、スケジュール会議用に CTMS を Cisco TelePresence Manager に登録するために使用します。

図 4-7 に、Cisco TelePresence Manager Settings 画面を示します。

図 4-7 Cisco TelePresence Manager Settings



CTS-Manager Settings を設定または編集するには、次の手順を実行します。

ステップ 1 ナビゲーション ペインの **System Configuration** フォルダから **CTM Settings** をクリックして **CTM Settings** ウィンドウを開きます。





ステップ 2 CTM Settings に、CTM Settings 設定フィールドを示すテーブルが表示されます。

必要に応じて、表 4-7 に示すように設定値を入力または編集します。

表 4-7 CTM Settings

フィールドまたはボタン	設定
Description	この特定の CTMS を説明または識別するテキスト。このフィールドの最大文字数は 62 文字です。
Latitude	赤道を基準として CTMS の南北位置（緯度）を示します。書式は dd mm ss D です。dd は度数、mm は分、ss は秒、D は方位（北は N、南は S）を示します。

表 4-7 CTM Settings (続き)

フィールドまたはボタン	設定
Longitude	グリニッジ子午線を基準として CTMS の東西位置 (経度) を示します。書式は dd mm ss D です。dd は度数、mm は分、ss は秒、D は方位 (東は E、西は W) を示します。
Time Zone	CTMS が配置されている場所の時間帯を示します。Time Zone をクリックすると使用可能な時間帯オプションが表示されます。オプションをクリックして強調表示し、選択します。
Daylight Savings Time	CTMS が自動的に夏時間調整を行うかどうかを設定できます。オプションは Yes と No です。該当するオプション ボタンをクリックして選択します。
User	<p>CTMS Web サービスが CTS Manager と通信する際に使用するユーザ名。</p> <p> (注) ユーザ名は 5 文字以上 64 文字以下である必要があります。大文字と小文字の英数字、下線、およびダッシュを使用できます。apache、daemon、nobody、operator、および shutdown というユーザ名は使用できません。</p> <p> (注) CTMS と CTS-Manager で設定するユーザ名およびパスワードは同一にする必要があります。</p>
Password	<p>CTMS Web サービスが CTS Manager と通信する際に使用するパスワード。</p> <p> (注) パスワードは 5 文字以上 64 文字以下である必要があります。大文字と小文字の英数字、下線、およびダッシュを使用できます。apache、daemon、nobody、operator、および shutdown というユーザ名は使用できません。</p> <p> (注) CTMS と CTS-Manager で設定するユーザ名およびパスワードは同一にする必要があります。</p>
Host	CTS-Manager の IP アドレスまたはホスト名。
Registration Status	(表示のみ) CTMS および CTS-Manager の登録状態。

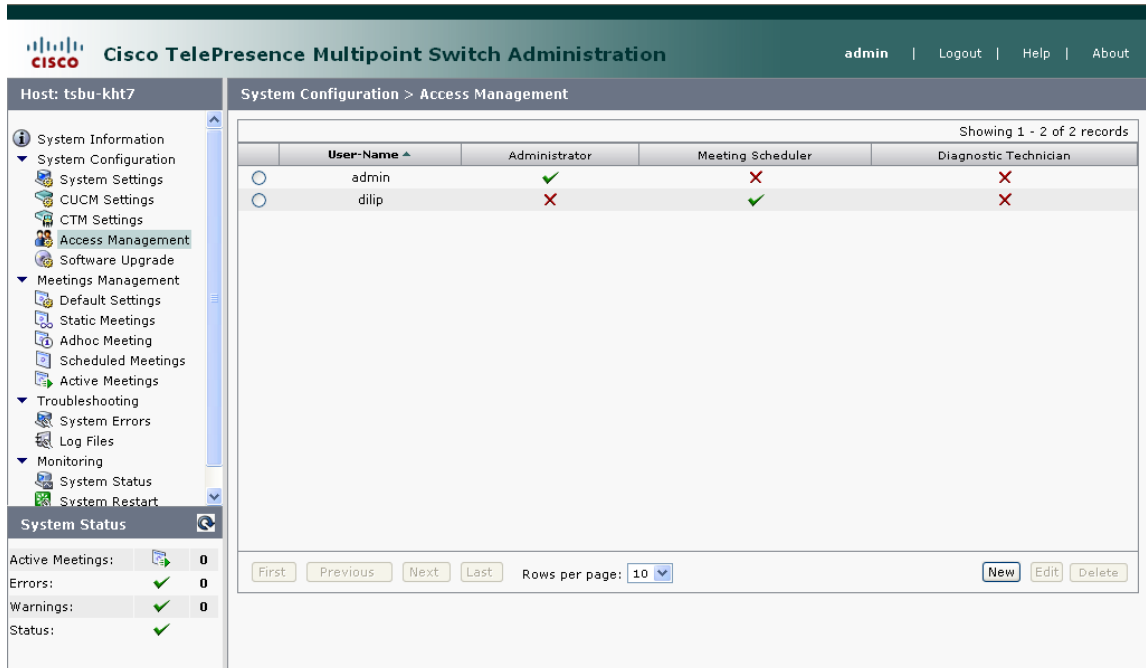
- 新しい設定または変更した設定を登録するには、**Apply** をクリックします。
- 元の設定に戻すには、**Reset** をクリックします。

Access Management の設定および編集

CTMS Administration ソフトウェアは、次の3つの管理ロールを認識します。タスクフォルダへのアクセス権限は、定義された管理ロールによって異なります。そのため、管理ロールはアクセス管理の形態の1つと見なされ、Access Management 画面の設定値を使用して定義されます。

図 4-8 に、Access Management 画面を示します。

図 4-8 Access Management



The screenshot shows the Cisco TelePresence Multipoint Switch Administration interface. The main content area is titled "System Configuration > Access Management" and displays a table of users. The table has the following data:

User-Name	Administrator	Meeting Scheduler	Diagnostic Technician
admin	✓	✗	✗
dilip	✗	✓	✗

The interface also includes a left-hand navigation menu with options like System Information, System Configuration, CUCM Settings, CTM Settings, Access Management, Software Upgrade, Meetings Management, Troubleshooting, and Monitoring. At the bottom of the table, there are navigation buttons (First, Previous, Next, Last) and a "Rows per page" dropdown set to 10. There are also "New", "Edit", and "Delete" buttons.

Access Management 設定値を設定または編集するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** ナビゲーション ペインの **System Configuration** フォルダから **Access Management** をクリックして **Access Management** ウィンドウを開きます。
- ステップ 2** 表 4-8 に示すように、Access Management には最初に、定義済みのユーザに関する情報を示すテーブルが表示されます。

表 4-8 Access Management テーブルのフィールドの説明

フィールド	説明
Username	特定の CTMS ユーザのユーザ名。
Administrator	管理者は CTMS に関連付けられたすべてのタスクを実行する権限を持ちます。これらのタスクには、システム設定値の設定、マルチポイント会議の管理、CTMS の保守、監視、およびトラブルシューティングが含まれます。管理者は、CTMS Administration ソフトウェアのすべてのフォルダへのアクセス権限を持っています。このフィールドに緑色のチェックマークが表示されている場合は、選択したユーザが管理者として指名されていることを示します。
Meeting Scheduler	会議スケジューラは、会議テンプレートの定義や、アドホック会議、定例会議、およびスケジュール会議のセットアップ（必要に応じて、停止）など、マルチポイント会議の管理タスクを実行する権限を持ちます。会議スケジューラは、CTMS Administration ソフトウェアの Meeting Management フォルダへのアクセス権限を持っています。このフィールドに緑色のチェックマークが付いている場合は、選択したユーザが会議スケジューラとして指名されていることを示します。
Diagnostic Technician	診断技術者は、CTMS の監視およびトラブルシューティングタスクを実行する権限を持ちます。診断技術者には、CTMS Administration ソフトウェアの Troubleshooting フォルダと Monitoring フォルダへのアクセス権限があります。このフィールドに緑色のチェックマークが付いている場合は、選択したユーザが診断技術者として指名されていることを示します。

- 定義済みの管理者のいずれかを削除するには、テーブル エントリの左にあるオプション ボタンをクリックしてから **Delete** をクリックします。
- 定義済みの管理者のいずれかを編集するには、テーブル エントリの左にあるオプション ボタンをクリックしてから **Edit** をクリックします。
- 新規の管理者を定義するには、**New** をクリックします。

ステップ 3 Access Management 画面で **New** をクリックすると、[図 4-9](#) に示すように、New User Settings テーブルが表示されます。

図 4-9 New User Settings

ステップ 4 表 4-9 に示すように、設定値を入力します。

表 4-9 New User Settings




フィールドまたはボタン	設定
Username	Role フィールドで選択された定義済みロールを識別するユーザ名。  (注) ユーザ名は 5 文字以上 64 文字以下である必要があります。大文字と小文字の英数字、下線、およびダッシュを使用できません。apache、daemon、nobody、operator、および shutdown というユーザ名は使用できません。
Password	Username フィールドに示されているユーザ名のパスワード。  (注) パスワードは 5 文字以上 64 文字以下である必要があります。大文字と小文字の英数字、下線、およびダッシュを使用できません。apache、daemon、nobody、operator、および shutdown というユーザ名は使用できません。
Verify Password	このユーザに定義済みのパスワードを再入力します。


表 4-9 New User Settings (続き)

フィールドまたはボタン	設定
Role	<p>特定のユーザ ロールを定義します。CTMS Administration ソフトウェアには、それぞれ特定の管理アクセス レベルを持つ3つのロールがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> Administrator (管理者) : 管理者は CTMS Administration ソフトウェアのすべての画面と設定タスクに対するアクセス権限を持ちます。 Conference Scheduler (会議スケジューラ) : 会議スケジューラは、CTMS Administration ソフトウェアの Meeting Management 画面と関連付けられている設定タスクに対してのみアクセス権限を持ちます。 Diagnostic Technician (診断技術者) : 診断技術者は、CTMS Administration ソフトウェアの Monitoring 画面と Troubleshooting 画面、および1つのタスク (システムの再起動) に対してのみアクセス権限を持ちます。 <p> (注) 単一のユーザに複数のロールを割り当てることができます。</p> <p>該当するオプション ボタンをクリックして選択します。</p>

- 新しい設定または変更した設定を登録するには、**Apply** をクリックします。
- 設定を適用せずにウィンドウを閉じるには、**Close** をクリックします。

ステップ 5 既存のユーザ プロファイルを編集するには、テーブル エントリの左にあるオプション ボタンをクリックしてユーザを選択し、**Edit** をクリックします。Access Management 画面で **Edit** をクリックすると、Edit User Setting テーブルが表示されます。必要に応じて、表 4-10 に示すように設定値を入力します。

表 4-10 Edit User Settings

フィールドまたはボタン	設定
User	(表示のみ) 定義されているロール。
Password	<p>Username フィールドに表示されているユーザ名のパスワード。</p> <p> (注) パスワードは 5 文字以上 64 文字以下である必要があります。大文字と小文字の英数字、下線、およびダッシュを使用できません。apache、daemon、nobody、operator、および shutdown というユーザ名は使用できません。</p>
Verify New Password	このユーザに定義済みのパスワードを再入力します。

- 新しい設定を登録するには、**Save** をクリックします。
- 設定を適用せずにウィンドウを閉じるには、**Close** をクリックします。

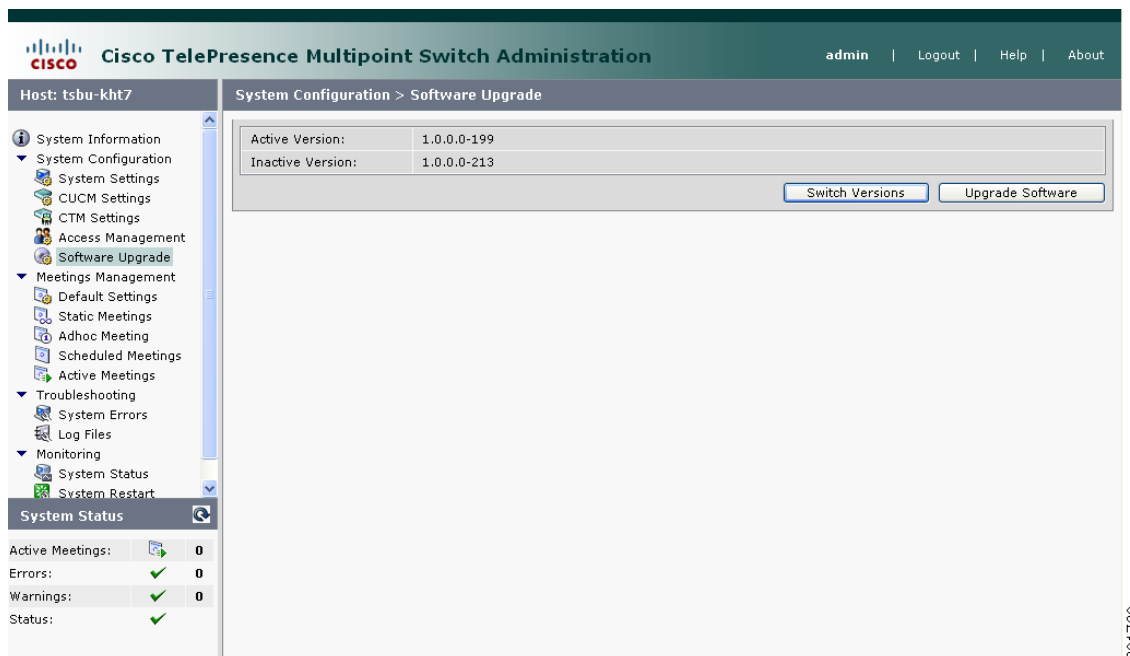
ソフトウェアバージョンのアップグレード

システム ソフトウェアを管理するために役立つ次の2つの機能もあります。

- **Switch Version** : CTMS がインストールされているサーバのハード ドライブは、2つの領域に分割されます。領域ごとに1つのシステム イメージが含まれます。**Switch Version** 機能によって、異なるバージョンのシステム ソフトウェアが保存されている2つの場所を切り替えて使用できます。
- **Upgrade Software** : CTMS はシステム ソフトウェアをアップグレードするためのパッチ ファイルを提供しています。シスコが提供するパッチ ファイルは CD-ROM または Secure FTP (SFTP) ホスト ネットワークに格納されています。ウィザードは、プロセスに沿ってユーザ入力を求めるダイアログボックスを表示します。

図 4-10 に、Software Upgrade 画面を示します。

図 4-10 Software Upgrade 画面



ソフトウェアのバージョンを切り替えるには、次の手順を実行します。

- **Switch Version** ボタンをクリックします。

システムはソフトウェアのバージョンを切り替え、リブートします。画面にアクティビティの説明が表示されます。

サーバのハード ドライブのアクティブなパーティションに、アクティブなシステム イメージが含まれます。ロードされたソフトウェア バージョンが **Active Version** フィールドと **Inactive Version** フィールドに表示されます。

ソフトウェアをアップグレードするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1** ソフトウェアのアップグレードプロセスを開始するため、Upgrade Software ボタンをクリックします。

Source Selection ダイアログボックスが表示されます。

ソフトウェアのインストールを停止する必要がある場合は、Cancel ボタンがアクティブな状態のときに、Cancel ボタンをクリックします。

- ステップ 2** CD-ROM または Network オプション ボタンをクリックして、パッチ ファイルの場所を選択します。

CD-ROM を選択した場合は、Next をクリックして File Selection ウィンドウに進みます。

Network を選択した場合は、ホスト名、ログインユーザ名、パスワード、およびパッチ ファイルへのパスを入力します。デフォルトでは、サーバへのアクセスにはポート 22 が使用されます。必要に応じて正しいポート番号を入力します。Next をクリックして File Selection ウィンドウに進みます。

- ステップ 3** File Selection ウィンドウでオプション ボタンをクリックしてロードするファイルを選択します。次に Next をクリックします。

- ステップ 4** Patch File Preparation ウィンドウが表示されます。このウィンドウで、ファイルのダウンロードの進捗状況を監視できます。パッチ ファイルのロードが完了するまで、ボタンは非アクティブになります。

ファイルがロードされると、ウィンドウに Confirmation メッセージが表示されます。

ソフトウェア ウィザードが、インストールされたソフトウェアのバージョンと、アクティブな Yes および No オプション ボタンを表示します。この時点で、新たにロードしたソフトウェアがアクティブなパーティションになるように切り替えることができます。

- ステップ 5** Yes または No をクリックして選択します。次に Next をクリックして、ソフトウェアのアップグレードタスクを終了します。

インストール ウィザードが、更新の進捗状況をログに記録するダイアログ ウィンドウを表示します。

- ステップ 6** ログ内に、ファイルを切り替えたことが示されたら、Finish をクリックしてこのタスクを終了します。
-